

守監発第8号
令和7年8月19日

守谷市長　松丸修久様

守谷市監査委員　高瀬尚則

守谷市監査委員　高梨恭子

令和6年度守谷市各会計決算及び
各基金運用状況審査意見書の提出について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第2項の規定により審査に付された、令和5年度における守谷市一般会計及び特別会計の歳入歳出決算並びに同法第241条第5項の規定により審査に付された各基金の運用状況について審査したので、次のとおり審査意見書を提出する。

令和6年度守谷市各会計決算及び各基金運用状況審査意見書

1 審査の対象

守谷市一般会計歳入歳出決算
守谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算
守谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
守谷市介護保険特別会計歳入歳出決算
各基金の運用状況を示す書類

2 審査の期間

令和7年7月16日から令和7年8月15日まで

3 審査の方法

守谷市各会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、関係法令に準拠して作成され、これらの計数の正確性とその会計処理が適正に行われているかを関係書類と照合するとともに、関係職員から説明を聴取し、定期監査、例月現金出納検査等の結果を参考として、収入支出事務の適法性、的確性の確認を行い、予算が適正かつ効率的に執行されたかを審査した。

また、各基金の運用状況を示す書類について、その計数の正確性を検証するため、関係帳簿等との照合その他通常実施すべき審査を実施したほか、基金の運用状況の妥当性を検証するため、関係書類を審査した。

4 審査の結果

審査に付された守谷市一般会計歳入歳出決算書、守谷市各特別会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、関係法令に準拠して調製されており、その計数は、関係諸帳簿その他証書類と照合した結果、予算の執行に関連する事務の処理は適正かつ効率的に執行されていると認められた。

また、各基金の運用状況を示す書類の計数についても関係諸帳簿、証拠書類と符合しており、基金の運用状況は妥当であると認められた。

5 審査の意見（各会計の状況）

【一般会計】

歳入決算額は394億3,928万9,335円で、前年度と比較して7億9,304万6,302円(2.0%)の減額となった。

歳出決算額は367億1,356万5,199円で、前年度と比較して3億9,643万1,251円(1.1%)の減額となった。

歳入の状況としては、前年度と比較すると、主なものとして、地方特例交付金、国庫支出金、市債が増額となった一方、市税、繰入金、繰越金が減額となった。

なお、歳入における財源の構成比は、自主財源が 65.8%（前年度：72.4%）、依存財源が 34.2%（前年度：27.6%）という状況である。

歳出の状況としては、前年度と比較すると、主なものとして、土木費、消防費、教育費、諸支出金が増額となった一方で、減額となった主なものとして、総務費、衛生費、商工費、公債費が挙げられる。

また、歳出における目的別の構成比で見ると、増加となった主なものは、土木費が前年度 7.68%に対して 10.00%、教育費が前年度 10.39%に対して 13.27%、諸支出金が前年度 6.53%に対して 12.33%となっている。増加の主な理由として、土木費では総合公園新設事業に係る用地買収費が、教育費では校舎改修事業や公民館改修事業が挙げられる。

【国民健康保険特別会計】

歳入決算額は 53 億 3,966 万 4,025 円で、前年度と比較して 1 億 8,088 万 2,127 円（3.5%）の増額となった。

歳入の主なものとして、前年度から、国民健康保険税が 2,915 万 4,385 円（2.5%）の減、県補助金が 2 億 249 万 2,337 円（6.0%）の増となったが、基金繰入金が 2 億 4,218 万 7,000 円となっており、前年度と同様に、基金の取り崩しに大きく依存している状況となっている。

歳出決算額は 53 億 1,217 万 2,622 円で、前年度と比較して 1 億 9,363 万 786 円（3.8%）の増額となった。

歳出では、保険給付費が増加する一方で、国民健康保険事業費納付金が減少しており、決算額としては、前年度と同規模になっている。また、支払準備基金の残高は 7 億 8,171 万 6,730 円で、前年度から 2 億 4,148 万 2,709 円の減となっている。

【後期高齢者医療特別会計】

歳入決算額は 10 億 8,255 万 5,681 円で、前年度と比較して 1 億 8,205 万 5,303 円（20.2%）の増額となった。

歳出決算額は 10 億 7,770 万 9,119 円で、前年度と比較して 1 億 8,108 万 5,852 円（20.2%）の増額となった。

令和 7 年 3 月末における被保険者数は 9,111 人（令和 6 年 3 月末：8,505 人）で、人口に占める割合は 12.8%（令和 6 年 3 月末：12.0%）となっている。今後も、被保険者数の増加が予想される。

【介護保険特別会計】

歳入決算額は 42 億 1,152 万 7,124 円で、前年度と比較して 8,228 万 5,003 円 (2.0%) の増額となった。

歳出決算額は 41 億 544 万 7,744 円で、前年度と比較して 1 億 5,043 万 8,566 円 (3.8%) の増額となった。

歳出における保険給付費は 35 億 750 万 519 円で、歳出総額の 85.4% を占めている（令和 5 年度：33 億 1,936 万 9,521 円（歳出総額の 83.9%）。

守谷市の要介護認定率は、各年 4 月 1 日現在、年々微増しているものの、茨城県や全国と比較すると、いずれも低い水準となっている。

【財政分析指標】

財政分析指標については、単年度の財政力指数が 0.956（前年度：0.963）、経常収支比率が 94.8%（前年度：96.3%）、公債費負担比率が 5.5%（前年度：5.9%）となっている。

【基金運用状況】

各種基金については、適正に管理・運用されている。